

浜松・湖西・袋井 実証実験サポート事業

《 募 集 案 内 》

事業の目的

今後の飛躍的な成長が期待されるスタートアップ等が、浜松市・袋井市・湖西市で実証実験を実施する際に各種支援を行います。本事業では、実証実験を対象とした支援を通じて、各市の社会的課題の解決や市民サービスの向上につなげていくとともに、スタートアップ等への支援により産業を振興することを目的とします。

1. 事業の概要

浜松市、湖西市、袋井市をフィールドに実施する実証実験プロジェクトを全国から募集します。優秀な独自技術やアイデアを活用した実証実験プロジェクトについては、実証フィールドの提供、実験に係る費用の助成等のサポートを行います。

2. 募集内容

(1) 募集プロジェクト

市民生活の質の向上や行政効率化にあたって浜松市、湖西市、袋井市が認識している課題に即して各市が設定するテーマ（※）に取り組む実証実験プロジェクト

※(テーマの一覧)

No	テーマ名	テーマ提案元	テーマの要点
1	3D デジタル技術による施工計画の効率化(BIM/CIM 活用)	浜松市	解決したい課題： 終末処理場及びポンプ場施設におけるプラント設備改築工事では、狭隘かつ設備・配管類が輻輳するような施工条件の中で、施工計画を策定する

			<p>必要があるが、既存の設備・配管類の立体的な位置関係を把握できておらず、大幅な時間と労力を要し、また予期せぬ干渉の発生により、計画変更の必要が生じることが多いこと</p> <p><u>必要とする技術：</u> 3D レーザスキャナー、3D モデルソフト等</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 設計段階においては、館山寺浄化センター汚泥処理棟及び北、南ポンプ場で、3D レーザスキャナーにより施設の点群データを取得。データをもとにした3D モデルでの改築や施設の耐水化計画を検討する。施工段階においては、北ポンプ場沈砂池設備改築工事にて3D データから検討した施工計画をもとに、維持管理における有効性を確認する。</p>
2	衛星画像等を活用した不法・不適切盛土等監視の効率化	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 土砂崩れの原因等になる、人為的な不法・不適切な盛土を規制するにあたり、規制区域が広大であるため、効率的な監視手段を確立したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 衛星画像等の解析に関連する技術や知見</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 衛星画像等を活用し、以下の技術の実用性を実証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛土等の範囲・高さ等を解析する技術。 ・不法・不適切盛土等の箇所を抽出する技術。
3	センシング技術等を活用したスマートごみステーションの実現	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 全国的な社会問題である自治会未加入者等のごみ出し困難者の集積所利用の課題と、中小規模事業者を中心とした事業系ごみの地域集積所への不適正排出の課題を解決したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 以下の要点を満たすもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱型構造で無人管理のものとし、ごみ投入時に料金（従量制の一般廃棄物処理手数料含む）を自動徴収する仕組みを備えていること ・容器内の蓄積状況をセンシング、IoT を活用してクラウド上のサービスなどを經由して、リアルタイムで可視化、容器が溜まった段階で収集運搬業者が回収など <p>→いわゆる「スマートごみ箱」のイメージ</p> <p><u>想定する実証実験：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や事業者が24時間ごみ出し可能な自動管理・料金自動徴収型ごみ箱の設置と、そこからのごみ収集を行う実証実験を想定する。 ・対象とするごみは原則として、家庭系・事業系一般廃棄物のうち、本市の分別区分においてもえるごみとなるものに限る。
4	養豚場から発生する臭気の発生原因の特定と抑制対策	湖西市	<p><u>解決したい課題：</u> 養豚場が市街地に隣接することにより、臭気に対する市民からの不快感が多く寄せられており、臭気の抑制が喫緊の課題となっている。臭気が市街</p>

			<p>地で発生する原因の特定や効果的な対策を導き出すことができず、課題解決まで至っていないため、原因を特定し、これに応じた対策を実施することにより、市街地での臭気を軽減したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・養豚場内や市街地で自動的にデータ収集ができるシステム ・臭気の原因物質の特定ができること。 ・市街地まで臭気が届く要因の特定ができること。 <p><u>想定する実証実験：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・養豚場内や市街地での継続的なデータ収集、データ分析。 ・養豚場内で臭気の原因物質が多く発生する要因及び場所を特定する。
5	センサー・カメラ等を活用した有害鳥獣の効率的な捕獲	袋井市	<p><u>解決したい課題：</u></p> <p>箱わなにセンサーや高感度カメラ等を設置し、遠隔で設置状況を把握できるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常時に通報するセンサー装置を付加することにより、現場対応が必要と判断される場合のみ活動できるようにすることで、従事関係者の負担軽減を図りたい。 <p><u>必要とする技術：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサー技術、高感度カメラ ・遠隔操作、連携ができるシステム <p><u>想定する実証実験：</u></p> <p>希望時期は特にないが、鳥獣が捕獲される数が多いのは7月～11月である。</p> <p>以下を想定するが、これにこだわらない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術を入れ込んだ箱わなを現場に設置、検証
6	レーダー技術等を活用した排水機場の劣化状況の診断	袋井市	<p><u>解決したい課題：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水機場は、流水や汽水（海水）に接する厳しい環境にあるため、劣化が進行しやすく、地盤条件によっては設備の劣化調査作業がより困難になる。 ・現在、目視が困難な流入槽内及び屋上（建屋）の劣化状況の確認・診断は約40～60年近く、劣化確認や診断が実施できていないため・職員やコンサルタントが直接、目視で劣化状況を確認せずに、安全・安価に劣化状況を確認・診断できるようにしたい。 <p><u>必要とする技術：</u></p> <p>以下を想定するが、これにこだわらない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物を破壊せず内部を調べられるレーダー技術 <p><u>想定する実証実験：</u></p> <p>時期について特段の希望はないが、梅雨時期や台風シーズンは雨量が多いため実証が難航する可能性がある。</p> <p>実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内施設にて、提案技術を実証導入し、効果を検証

7	ケータイ・スマホを活用した災害時の安否確認の強化	袋井市	<p><u>解決したい課題：</u> 袋井市では大規模災害時には各地域の自治会組織である自主防災隊が中心となり、市民の安否確認を行うことを想定している。しかし自治会未加入者の増加や個人情報保護の観点もあり、全市民の安否確認が課題となっている。 市民一人ひとり（世帯毎でも可）が安否登録する仕組みづくりができるようにしたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 ・ケータイ等を活用した情報登録の仕組み</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 ・エリアを絞って、自治会と連携しながら仕組みを検証する</p> <p>9月：静岡県総合防災訓練（市内全域） 12月：地域防災訓練（市内全域） 3月：津波避難訓練（沿岸地域のみ）</p>
8	遊休不動産の利活用促進	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 浜松市では、市が保有する庁舎や学校、公園などを除いた普通財産のうち、18%が遊休財産と呼ばれる、活用されないまま存在している不動産や空間である。これらについて、例えば遊休不動産活用のための資金調達迅速化や投資リスクを分散して事業化スピードを上げる仕組みにより、更なる遊休不動産活用の機会を創出したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> ・オンライン上で資金調達できるプラットフォーム構築技術 ・ブロックチェーン技術による不動産共同所有権のトークン化技術 ・不動産共同所有権のオンライン売買を行う技術</p> <p><u>想定する実証実験：</u> ・仮想の物件について、所有権の分割 NFT 化、仮想売買マーケットの構築</p>
9	駅周辺におけるコワーキングスペースの活用検討について	湖西市	<p><u>解決したい課題：</u> 湖西市の地域企業において、人材不足、販路開拓、デジタル化など、個々の事業者での解決が困難な状況となっている。また稼働率の少ない公共施設や空き店舗などが駅周辺などに存在している。関係人口増や地域活性化につながる交流拠点の活用検討について、交流拠点の在り方、活用促進、地域産業への波及方法などの道筋をつけたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> ・交流拠点の活用促進などの知見 ・交流拠点へ人を集めるノウハウ</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 ・コミュニティへ人を集める仕組みの検証と運用 稼働率の少ない公共施設や市内空き店舗を活用できるとさらに望ましい。</p>

10	3D都市モデルを活用した地域課題等の解決	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> オープンデータとして公表している市内3D都市モデルを行政だけでなく民間企業や研究機関等が活用することによるイノベーション創出の活性化や地域課題の解決を考えているが、以下の課題がある。 ①3D都市モデルの周知不足 ②各分野における課題等の情報不足 ③庁内の作動環境の未整備</p> <p><u>必要とする技術：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 ・課題とその解決を補佐する基盤情報をマッチングするAI等 ・オフラインで作動するアプリケーション技術</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 以下内容を想定するがこれにこだわらない。 ・3D都市モデルの周知とユースケースの検証 ・オフラインで作動する3D都市モデル活用システムを庁内に試験導入し動作を検証する</p>
11	EBPM推進のための政策の効果検証設計(リサーチデザイン)	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 次期基本計画(2025~2035年度)で定める政策の効果を知るため、政策の実施前に測定方法や必要となるデータの収集方法などの設計を行うことが重要と考えているが、実際に政策の効果の評価するには、政策によるものなのか、その他の社会環境の変化による影響なのか等、要因の検証を行うことが難しい場合がある。次期基本計画において、政策とその効果間の因果関係を示す証拠と、その把握が可能である重要政策の効果論理的に説明できる手法をつくりたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> ・データ分析、効果検証の手法に関する専門的な知見 ・各分野の政策に関する知見</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 過去の基本計画を基に2023年10月から2024年9月までに一定の成果を出し、次期基本計画案に反映する。</p>
12	AI技術等を活用した多言語通訳、チャットボットの導入	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 浜松市は全市民のおよそ3.4%が外国人市民で、今後も増加する見通しである。これまでは、ブラジルをはじめとする南米系の外国人が過半数を占めていたが、近年ではアジア系の外国人が増加し、多国籍化が進んでいる。 市役所では2018年から多言語テレビ通訳の導入をしており、テレビ通訳は確実な意思疎通ができる一方、通訳オペレーターを介してやりとりするため1件あたりの対応時間が長期化する傾向にある。全てを一律に対応するのではなく、定型的内容とそれ以外の内容に分けたより効率的な対応が可能となるようにしたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u></p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・A I 等先進技術を活用した多言語翻訳に関する技術 ・チャットボットに関する技術 <p><u>想定する実証実験：</u></p>
13	手話通訳者と利用者の円滑なマッチングの実現	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 浜松市では手話通訳者の派遣を実施しており、派遣には「浜松市手話通訳者派遣申込書」の提出を受け、「手話通訳者派遣事業登録者台帳」に登録された者の中から、派遣可能な者を選定し、申込者に「手話通訳者派遣決定通知書」を、派遣する手話通訳者に「手話通訳依頼書」を通知するという申込みの過程を経て実施しているが、決定までの連絡や確認に多くの時間を要しており、また、職員個人の作業に依存する部分が多く、事務ミスリスクも高い。申請から決定までの時間を短縮してサービス向上を目指したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> オンライン上で利用者と通訳者のマッチングを完結させるプラットフォーム構築技術</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 対象となるプラットフォーム等の開発後、試験運用を実施し、運用に対する評価検証を実施する</p>
14	3D都市モデル、三次元測位システム等を活用した消防活動の円滑化	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 救助活動に従事する消防隊員の安全性の確保をするために、屋内・垂直位置（階数）で、隊員の行動を把握することができず、不測の事態が発生した際、隊員の位置を瞬時に把握することができない、現場指揮では危険情報等の正確な場所を把握することができないという課題を解決したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の中や地下でも、平面、垂直方向測位を高い精度で測定できること。 ・3D都市モデル（浜松市全域で整備済み）等により、屋内で活動中の隊員の位置情報が確認できること。 ・リアルタイムで表現できること。 <p><u>想定する実証実験：</u> 以下の内容を想定するが、これにこだわらない。 ・消防訓練での使用、検証。</p>
15	モノづくり人材育成のための市、学校、企業を結ぶコーディネート事業の効率化について	湖西市	<p><u>解決したい課題：</u> 湖西市には、大小さまざまなモノづくり企業が集積しており、市内に住む子どもたちが地元企業を身近に感じ、地域の仕事に対する理解と愛着を深めることで、将来も地元で働きたい・暮らしたいと思ってもらえるよう、市内小中学生に対して企業の協力のもと、工場見学や出前講座等を実施している。現状、調整に多くの時間を要しているため、その時間を削減したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> マッチングシステムの構築</p>

			<p><u>想定する実証実験：</u> マッチングシステムを利用したコーディネート事業の実施と検証</p>
16	地籍調査におけるWEB立会の導入検証	袋井市	<p><u>解決したい課題：</u> ・地籍調査における土地の境界については、基本、隣接する全ての所有者と立会い、双方合意の上で決めなければならないが地理的・身体的な要因で立会の時間が取れず、立会いへの協力が得られないことがある。 ・また現地での立ち合いをする際に、境界を確定判断するための情報が一元化されていないことで、事務作業が膨大化していたり立会人の判断に時間が掛かったりすることが課題である。 遠隔で土地の境界を確認する方法や事務効率化を確立したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> ・地理データと画像データを適切などころから引用・統合し、リアルタイムで遠隔参照できる技術</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 希望時期は特になし。 以下内容を想定するがこれにこだわらない。 ・システムの実証導入・検証</p>
17	新産業による市内への波及効果の測定	袋井市	<p><u>解決したい課題：</u> 産業を育成する観点から、川下の個人への認知度向上や消費を加速させる市民向けイベントの開催を検討しているが、イベントを開催することでどれくらいの交流人口の増加や、産業育成へ効果が見込まれるかが現状不透明のため、支援の方策がつかめないことが課題である。新産業を起点とした交流人口の増加、新しい産業が起点となるイベントの集客力や市内への波及効果などを測定することで、支援策の立案につなげたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> ・交流人口の測定 ・市内回遊ルートの把握</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 時期は、大型連休など、子連れなども参加できる時期が望ましい。 以下を想定するがこれにこだわらない。 ・提案サービス等の導入検証</p>
18	河川堤防等における自動運転による草刈の実施	袋井市	<p><u>解決したい課題：</u> 袋井市において、現状、河川堤防の草刈りは自治会が約7割の面積を行い、残りの3割を市が行っているが、自治会会員の高齢化や担い手不足によりさらなる負担が予想される。 ・河川堤防の草刈りを自動化し、自治会の作業面積を減らすことで負担を軽減するとともに快適な生活環境の創出を図りたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 以下を想定するが、これにこだわらない。 ・自動運転技術 ・位置情報を遠隔で把握、操作できる技術</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・自動草刈りの技術 <u>想定する実証実験：</u> 希望時期は特にないが、検証も実施することを考えて、暑い時期（特に7～9月）を避けられると好ましく草が生い茂る5月・10月が望ましい。 内容は以下を想定するが、これにこだわらない。 <ul style="list-style-type: none"> ・現地での自動運転草刈り機の実施・検証
19	スポーツツーリズム推進体制の整備	袋井市	<u>解決したい課題：</u> スポーツを通じた地域活性化に向けた交流人口拡大や施設稼働率の向上につながるよう、地域資源や観光等と、スポーツを融合させる取組であるスポーツツーリズムに取り組んでいきたい。その施策の一つとして、スポーツ合宿誘致を推進していきたいが合宿誘致に必要な情報整理や、受入体制の整備が必要となるため、迅速に対応できるようにしたい。 <u>必要とする技術：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 <ul style="list-style-type: none"> ・自動的に口コミをキュレーションして情報発信するシステム ・複数の情報を組み合わせて情報を補完する技術 <u>想定する実証実験：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 市内で開催する各種イベントで検証し、精度を高める 例えば <ul style="list-style-type: none"> ・10月第2週の市内おまつり ・春、夏のイベント（インターハイ予選など）
20	通学バスの回数券購入事務効率化	袋井市	<u>解決したい課題：</u> 袋井市が運営するバスのうち、一般の市バス（袋井市自主運行バス）の他に児童バスがあり、申し込み、料金の支払い、回数券の発行・受け渡しまで手間が多く、市民と職員双方に負担になっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・また、近年不注意によるバス車内における児童置き去りになることなどが発生しており、これらの負担を軽減したい。 <u>必要とする技術：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 <ul style="list-style-type: none"> ・回数券の負担を減らす技術、アイデア ・児童の乗り降りの管理ができるシステム <u>想定する実証実験：</u> 希望時期は特になし。 内容は以下を想定するがこれにこだわらない。 <ul style="list-style-type: none"> ・システムの導入検証
21	中学生の部活動における指導者等の確保について	袋井市	<u>解決したい課題：</u> 部活動が地域に移行されてくると、受け皿となる団体や指導者の確保が必要となるが現在、同市にある袋井市スポーツ協会競技部やスポーツ少年団は部活動の受け皿となることは難しい状況である。また、指導者についても、現在、人財バンクなどの一覧もなく、地域指導員の派遣を行う際

			<p>には、市内のスポーツ協会や競技団体等に当たっているほか、保護者や地域住民が過去の経験を活かしボランティア等で実施している状況であるため、部活動が将来にわたり持続可能な実施体制を構築したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> マッチングシステム、プラットフォーム</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 希望想定時期は特になし。 以下を想定するがこれにこだわらない。 ・市内中学校などと連携して、システム・マッチングを検証する</p>
22	スポーツ指導者と市民とのニーズマッチング・リアルタイム遠隔トレーニング環境の整備	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 浜松市内共通の課題として身体を動かす機会が減少しており、特に中山間地域の天竜区などでは人口減少や少子化による地域スポーツクラブ等の解散によってスポーツに触れる機会が減っている。一方で、平成29年の市民意識調査によれば、スポーツへの興味があるが実行に踏み切ることができていない状況であると考えられるためスポーツに興味がある人と指導者のマッチング等を行うことでスポーツ振興につなげたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 以下を想定するが、これにこだわらない。 ・サイト設立もしくはアプリ開発技術及びそれらの普及 ・リアルタイムでの相互動画通信、体の動きを読み取る技術</p> <p><u>想定する実証実験：</u> ・活動したい時間や曜日、場所、年齢、予算、活動指針等の条件から絞り込んで市内のスポーツ団体を検索できたり、市やスポーツ団体指導者、企業に対して要望を書き込んだりできるサイトやアプリ、市や市内の大学による取り組みを周知し、スポーツ産業をとりまとめた学・官・産の連携を促すシステムの開発 ・中山間地域における、DX 機器を利用しての遠隔指導や、AI 分析等によって体の動きを読み取る技術を利用した指導や自主学習</p>
23	救急隊員の疲労度の可視化と負担軽減	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 救急件数の増加に伴い、救急隊員の活動時間は延伸傾向にある一方で、救急隊員は、当番時には緊張状態が継続するとともに仮眠でも十分な睡眠がとりにくいこと、活動中は高度な状況判断が要求されることから、心身への負荷が大きい。そのような中、救急隊員の交代に対する明確な指標が定まっていないことが課題である。また、非交代時の労務負担をさらに軽減するための対応が必要である。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 例えば隊員に器具を取り付ける場合は、隊員の活動の支障とならず、災害出動に際し迅速に装着可</p>

			<p>能であり耐水性等を有しているものが望ましい。 <u>想定する実証実験：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・疲労度を可視化するための必要な情報の特定 可視化情報による救急隊員の交代指標（時期）の構築 ・指標による交代、非交代それぞれのアンケート調査の実施 ・身体的負担軽減ツールの救急現場での活用可否の実証
24	健康無関心層の行動変容を促す施策の検証	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 浜松市は、「予防・健幸都市の実現」に向けて、積極的に取り組んでいる。「予防・健幸」を実現するには、市民一人ひとりが予防や健康に関する意識を高め行動することが必要であり、同市では、ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブを公開する」といった取り組みを実施しているが、市民の多様な健康ニーズへ対応することや、健康無関心層の行動変容を促すことに課題を感じている。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 以下が想定されるが、これに限らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸クラブアプリとの連携技術 <p><u>想定する実証実験：</u> 以下内容が想定されるが、これに限らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案施策を実証することによる健幸クラブアプリの登録者数増減の検証 ・各社アプリと、健幸クラブアプリの保有するウォーキング履歴や検診受診履歴といった健康活動データとの連携による効果検証
25	放課後や長期休暇時の子どもの居場所づくりについて	湖西市	<p><u>解決したい課題：</u> 湖西市では、共働き家庭の増加により放課後児童クラブのニーズが高まり、待機児童が発生している。利用を希望する時間や回数が少ない場合や、長期休暇のみの場合には優先順位が低いと判断され、定員を超過した場合には受け入れ対象とならないことがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内には予約などを必要とせず子どもが自由に入出入りして遊べる施設（児童館等）がなく、放課後の過ごし方や子どもの居場所について、子どもや保護者のニーズに適した居場所の調査と分析ができていないため、子どもがひとりで安心して利用できる居場所づくりや仕組みづくりをしたい。 <p><u>必要とする技術：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや体験活動であれば、運営や経営、人材確保、人材育成ができること ・オンライン空間であれば、システムの構築、運用ができること等 <p><u>想定する実証実験：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭で求められる居場所の分析、効果検証
26	スポーツ無関心層へのeスポーツアプローチ	袋井市	<p><u>解決したい課題：</u> 現在、袋井市内では気軽に参加できるスポーツイベントを複数開催しているが、「成人の週1回以</p>

			<p>上のスポーツ実施率」について半数となっており、日ごろスポーツをしない方が多数存在する状況である。先端技術であるARやVRを活用した運動・スポーツ（eスポーツ）を活用し、市民のニーズを踏まえながらスポーツ・運動を始めるきっかけを提供したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 ・ARVR技術 ・コンテンツ制作技術</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 希望時期は特になし。 内容は以下を想定するがこれにこだわらない。 ・コンテンツを制作し、モニターへの試験導入、検証 (スポーツ施設内への設置などを想定)</p>
27	下水処理場における熱エネルギー等を活用した新たな発電技術	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 下水道分野は、下水処理場等において大量の電力を消費しているため、脱炭素社会の実現に向けて下水道の創エネの取組みが求められているが、創エネするために利用しているエネルギーは限定的である。そのため、下水処理場において現在未利用のエネルギーを活用した創エネができる技術が求められている。タービン発電機を使用しないで廃熱利用した発電をすることが可能となるようにしたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 熱電素子等を用いて汚泥焼却炉の排ガスや排水の廃熱エネルギーを活用した発電技術</p> <p><u>想定する実証実験：</u> ・内容：下水道施設課が所管する下水処理場（中部浄化センター）の汚泥焼却炉（60t/日）において、技術を用いた発電の可能性を確認する。 ・時期：11月ごろの定期修繕期間を除いた稼働が終了する6月までの間を希望する。</p>
28	事業系ごみ(使用済紙おむつ)の再資源化技術について	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 本市の可燃ごみに含まれる使用済紙おむつ排出量は、一般家庭由来で12,000t程度(8.9%)、事業者由来で4,500t程度(6.6%)あるものと推計されており、可燃ごみの減量・資源化にとって、大きなポテンシャルを持っている。 ・現在、国内では、使用済紙おむつの処理方法は焼却又は埋立となっている。 ・使用済紙おむつは、ペレット(燃料材)やパルプ等へのリサイクルが可能であり、全国的に見ても、その技術確立と普及が待たれるところである。</p> <p><u>必要とする技術：</u> ごみの減量・資源化に資することとなる使用済紙おむつの再資源化技術であって、目標達成に資するもの。一例として、紙おむつの素材の分離技術</p>

			<p>や効率的な洗浄技術など。</p> <p><u>想定する実証実験：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別収集などの課題が少ない事業者由来の事業系使用済紙おむつを主な対象とする。
29	地域資源を活用した効率的なエネルギー転換システム	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u></p> <p>太陽光発電の導入が進み、日本一の導入量となっているが、導入件数の鈍化、導入施設の経年劣化や維持管理などが課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入・利用拡大（エネルギーの地産地消）、 ・効率的なエネルギー転換システムの確立を行いたい。 <p><u>必要とする技術：</u></p> <p>効率的なエネルギー転換につながるシステム技術、事業スキーム</p> <p><u>想定する実証実験：</u></p> <p>対象の再生可能エネルギー転換システムを、公共施設、企業、市民モニターなどのテスト導入を行い、システムの効率性、事業採算性などを検証。</p>
30	水素貯蔵技術等を活用した小型の創エネ蓄システムの開発	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力系統への負荷軽減やBCP向上のため、自家消費率を最大限高めた分散型の創エネ・蓄エネシステムの構築・普及を図る必要がある。 ・蓄エネシステムとしては、現在主流となっている蓄電池に加え、エネルギー損失が無く長期貯蔵に適している水素貯蔵技術の確立及びコスト低減が必要。 <p><u>必要とする技術：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光等の再エネを自家消費し、余剰分については、蓄電池・水素システム（水電解装置・水素貯蔵タンク・純水素型燃料電池）を状況に応じて使い分け、エネルギーの効率的利用やBCP向上に資するシステム及び制御技術。 ・なお、水素システムについては、既製品として、自立型水素エネルギー供給システムがあるが、大型システムで導入費用が数億円と高額であるため、広く社会実装を進めるためには、小型で安価なシステム開発が必要。 <p><u>想定する実証実験：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一例として、エネルギー需要の週変動・季節変動が大きく、BCPニーズが高い施設（避難所等）において、上述の小型水素貯蔵システムを試験導入し、天候予測や需要予測、使用量実績等に応じた最適な設備仕様や制御方法を検証する。
31	製材所で廃棄されている木の皮（バーク）の有効利用	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・製材所において、副産物として発生する端材の多くは、製紙原料やバイオマス燃料として有効利用されているが、木の皮（バーク）については、破碎が難しく灰分も多いなど取り扱いが困難であることから、大部分が産業廃棄物として処分されており、有効利用が期待されている。 ・バイオマス資源であるバークの有効利用により、林業関係者の収益向上、カーボンニュートラ

			<p>ルに貢献したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> バークから水素等の高付加価値の成分を効率的に取り出し、精製する技術を期待するが、これに限らない。</p> <p><u>想定する実証実験：</u> ・一例として、製材所からバークの提供を受け、バークの種類や形状、季節変化等に応じた、最適な水素製造技術を検証。</p>
32	バイオスティミュラント資材と eco みどり配合肥料による新たな青梗菜の栽培体系の創出	浜松市	<p><u>解決したい課題：</u> 浜松市の特産品である青梗菜は、近年の気象変動により病気にかかりにくい良苗を安定生産することが困難となっている。バイオスティミュラントと呼ばれる、植物や土壌により良い生理状態をもたらす様々な物質や微生物を含めた資材試験と食品残渣堆肥（いわゆる食品ロス等から作られる肥料）を活用した eco みどり配合肥料を検討している。これら2つの技術を合わせ、BSによって良い苗を創出し、圃場（農地）では eco みどり配合肥料を活用した栽培を実施して収量や品質に影響が出ないか確認を進めたい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> BS資材の評価技術 青梗菜の苗及び収穫物の品質評価技術</p> <p><u>想定する実証実験：</u> ・BS資材等の散布の有無による生育効果の検証 ・eco みどり配合肥料の散布有無による生育効果の検証 ・独自の資材や肥料を活用した育成効果の検証</p>
33	土壌診断のデータベース化による農作物の品質向上の検証	袋井市	<p><u>解決したい課題：</u> 農業者の高齢化に伴い、農業従事者が年々減少し、耕作放棄地の増加等が問題となっている。課題として土壌状態の把握がある。費用面や技術面などから事業が積極的に進んでいないことが課題である。</p> <p>・土壌診断の結果を基に、栽培に最適な作物や土壌改良の最適化について見える化することで、当該農地でこれまで生産されていた作物の高収量・高品質化に資する効果や市場ニーズの高い農作物への転作を促進したい。</p> <p><u>必要とする技術：</u> 以下を想定するがこれにこだわらない。 ・土壌診断技術（資格は不要） ・診断内容をまとめるシステム</p> <p><u>想定する実証実験：</u> 希望時期は特になし。 内容は以下を想定するがこれにこだわらない。 ・土壌診断を実施し、とりまとめる一連の流れを実施・検証</p>
34	浜松地域の社会課題解決に資するSDGsに関連した事	浜松市	-

	業提案（フリー提案）		
--	------------	--	--

各テーマの詳細は、以下をご確認ください

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/desupport/application_overview.html

(2) 応募資格

1. 上記プロジェクトを実施できる事業者であること（事業者所在地は問いません）
2. 市町村税を完納していること。
3. 次の①、②のいずれにも該当しない者であること。
 - ① 個人（個人事業者を除く）、提案内容を自らが実施できない事業者、浜松市、湖西市、袋井市が連携を行うにふさわしくないと判断した事業者等
 - ② 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう）又は暴力団（同法第2条第2号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員と密接な関係を有する者
4. 中小企業者（中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に規定する中小企業者）（※1）
5. 1～4全てに該当する者を1者以上含み、研究開発を目的に2者以上の者で組織された共同体（※2）

※1 中小企業の定義は、以下のサイトを参考にしてください、
 中小企業庁「FAQ「中小企業の定義について」
https://www.chusho.meti.go.jp/faq/faq/faq01_teigi.htm#q1

※2 共同体は、次の要件を全て満たすものとします。

- ① 企業（浜松市、湖西市、袋井市内外）、大学、産業支援機関等により組織されること。
- ② 中心企業*は、「(2) 応募資格」で定める1. 又は2. に該当する者であること。
 *中心企業とは、研究開発の全体管理を含め中心作業を担う役割をもつ企業を指します。
 製品の一部加工や販売のみを担う企業は中心企業になりえませんので、ご注意ください。
- ③ 共同体として参画している企業や機関から管理事業者を指定し、補助金交付に係る全ての手続き及び共同体の事業運営、会計処理を担うこと。

なお、採択された共同体が採択後に経費補助の申請を行う場合は、当該共同体の中心企業が負担する補助対象経費の合計金額が、補助対象経費全体の2分の1以上になることが経費補助にあたって必要となる。

3. 実証実験の実施・支援期間

事業決定から最長令和6年9月末日まで

4. 支援内容

(1)各種支援

採択したプロジェクトについて、以下の支援が可能です。

- ① 市内公共施設、協力企業が有する施設などの実証実験フィールドの斡旋
 - ② 実証実験モニター募集支援、実証実験に係る地元調整
 - ③ 法制度に関するアドバイス
 - ④ 行政データの提供
 - ⑤ 実証事業のPR支援
- ※ その他、相談に応じます

(2)地域企業・団体からのプロジェクト協力

以下の地域企業・団体より、インフラやサービス利用などについて、実証実験プロジェクトへのご協力を表明して頂いています。

同企業・団体のインフラ・サービスの利用などを希望される場合は、審査の際にESを共有するため、応募時に希望の有無を明記してください。

- サーラグループ

提供可能リソース：ガスエネルギーに関連するインフラ（メーターおよび導管・付帯設備など）

- 浜松ケーブルテレビ株式会社

提供可能リソース：ケーブルテレビに関連するインフラ（放送・通信ネットワークなど）

- 天竜浜名湖鉄道株式会社

提供可能リソース：鉄道に関連するインフラ（車両、線路など）

- JA とぴあ浜松

(3)経費支援

浜松市、袋井市が採択したプロジェクトについて、採択後別途提出いただく申請書類(※)に記載された経費の使途、金額、その他の事項が適当と認められる場合、以下の経費を最大200万円(補助率1/2)助成します。

※ 浜松市、袋井市のプロジェクト採択企業のみとなります。湖西市のプロジェクトは対象外となりますのでご了承ください。

- ② 設備備品費(実証実験の実施に必要な設備備品(取得価格10万円以上)をレンタルする場合に要する経費)
- ③ 消耗品費(実証実験の実施に必要な物品(取得価格10万円未満)の製作および購入に要する経費)
- ④ 謝金(実証実験の実施に必要な知識や意見を聴取するため、有識者等に支払う謝金)
- ⑤ 外注委託費(装置のメンテナンスやデータの分析に必要な経費)
- ⑥ 通信運搬費(実証実験に必要な物品の運搬費やデータ通信費)
- ⑦ 賃借料(実証実験に必要な施設や土地を借り上げる経費)

※ 補助に関しては、採択後に別途浜松市または袋井市宛てに申請いただく必要があります。申請方法等の詳細は、採択後に個別に案内します。なお、年度がまたがる実証実験については、年度毎の申請が必要になります。詳細は採択後に対象社へお送りする「実証実験サポート事業費補助金 募集案内」をご覧ください。

5. 応募から審査までの流れ

(1) 応募

参加希望の方は、事業提案書を作成の上、専用サイトの応募フォームより応募してください。同フォームへの入力・送信並びに事業概要エントリーシート及び実証実験エントリーシート(Microsoft Power Point等のプレゼンテーション作成アプリケーションで作成した資料をPDFに変換したもので、**それぞれ10MB以下の容量に圧縮したもの**)の事務局への提出をもって受付完了とします。

応募フォームはこちら

※1 応募書類は、日本語のみ受け付けます。

※2 エントリーシート2種には個人情報に記載しないでください。ご応募いただいたテーマの担当市に限らず、浜松市、湖西市、袋井市の3市で共有させていただきます。

※3 応募フォームより登録いただいた個人情報（担当者氏名、メールアドレス、電話番号）は、応募書類に係る参加希望者への問い合わせ、審査結果の通知、相談会等の出欠確認、その他本事業に係る各種イベントに係る案内及び出欠確認等のために、使用いたします。

※4 応募フォームより登録いただいた個人情報（担当者氏名、メールアドレス、電話番号）は、応募書類に関する問い合わせ、審査に関する問い合わせ、採択後の伴走支援時の情報共有を目的に、浜松市から湖西市、袋井市へ第三者提供させていただきます。

登録いただいた個人情報に関しては浜松市「個人情報の取り扱いについて」に則り取り扱います。

浜松市「個人情報の取り扱いについて」

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/privacy/>

※5 採択されたプロジェクトの情報や実証実験時の写真・動画等について、浜松市、湖西市、袋井市が広報活動に利用させていただく場合があります。ご承諾いただける方のみ、ご応募をお願いします。

※6 浜松市は、本事業の応募受付に係る業務を、株式会社日本総合研究所に委託しています。

(2) 審査

① 書類審査

書類審査は書類のみで行います。審査を行うにあたり、事務局より個別に内容の確認を行う場合があります。選考基準（予定）は下記の通りです。

- (1) 課題・ニーズを意識しているか
- (2) 技術又はアイデアの斬新さ及び事業化の可能性
- (3) 将来性と競争力
- (4) 事業化に対する情熱・熱意/チーム体制評価
- (5) 社会的課題解決の可能性・社会的インパクトの大きさ
- (6) 各自治体において実証実験を実施する意義・効果（※）

※ 応募企業の技術又はアイデアを事業化する上で浜松市、湖西市、袋井市において実証実験を行うことの意義や浜松市、湖西市、袋井市から各種支援を受けることによ

る事業化への影響等を評価します。評価にあたっては、実証実験の実施可能性に関しても評価しますが、浜松市、湖西市、袋井市からの支援が無い場合は実施することが難しい内容であっても、浜松市、湖西市、袋井市からの支援により実施可能性が高まる場合は、浜松市、湖西市、袋井市において実証実験を実施する意義・効果があるものとして評価します。例えば、規制等により浜松市、湖西市、袋井市で実証実験を行えないと判断される場合は、実証実験を行う意義なしと評価しますが、浜松市、湖西市、袋井市の支援のもと、採択プロジェクトが各種規制緩和に係る制度（いわゆるレギュラトリーサンドボックス等）を利用し、実証を行う道筋が付けられると判断する場合は、意義ありと評価します。

② プレゼン審査

書類審査を通過したプロジェクトを対象に選考会を行います。選考は主にプロジェクトのプレゼンテーション及びそれに対する質疑応答を行います。

審査会における審査基準は、通過プロジェクト相談会の際に説明しますが、実証実験の実施内容の妥当性、実証実験の実施可能性等の実証実験の実施に係る審査項目に比重を置いて評価します。書類審査結果通知から9月末に予定しているプレゼン審査まで時間が限られていますので、書類審査前に開催される事前相談会等を積極的にご活用ください。

(3) スケジュール

■ 募集期間：令和5年6月1日～7月27日17時

- 事前相談会希望者提出期限 : 令和5年6月29日
- 事前相談会 : 令和5年7月6日
- 最終締切 : 令和5年7月27日17時

■ 審査期間：令和5年7月28日～9月末まで

- 書類審査結果通知 : 令和5年8月30日 目途
- 通過プロジェクト相談会 : 令和5年9月1日
- プレゼン審査 : 令和5年9月14日
- 結果通知 : 令和5年9月29日 目途

■ 実証実験期間：プロジェクト採択から最長令和6年9月末日まで

※ 審査期間における各種スケジュールは変更となる可能性があります。変更となった場合は、メール等により随時通知します。

6. その他

被採択者は、実証実験についてメディアから取材があった場合等、本実証実験が「浜松・湖西・袋井実証実験サポート事業」の支援を受け実施している旨、発信いただきます。

また、プロジェクトの成果について、成果発表（デモデイ）での発表やホームページ等での公開にご協力いただきます。

7. お問い合わせ窓口

浜松市産業部スタートアップ推進課

電話： 053-457-2825 担当 金子

メール： vs-sangyo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

専用サイト（浜松市実証実験サポート事業ウェブサイト）：

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/desupport/index.html>